



石川知主任



柳本一樹主任

# 医療最前線 陰の立役者

県立中央病院から

〈309〉

山梨県立中央病院で使用する医薬品や医療用備品などの物品調達に携わるのが、企画経理課調達担当の職員だ。他施設との共同購入などを通じて物品の価

## 山梨県立中央病院 物品の価格抑制に向けた 取り組み

- 平均卸売価格の推移を確認
- 他医療機関との共同購入
- 医療関係者が価格交渉の場に同席

## 薬品や備品調達 価格を抑制 “節約”でより良い医療を

格抑制に努めつつ、“節約”できた費用は患者により良い医療を提供する機器の購入に充てている。

同課によると、人件費も含めた病院運営に関わる支出は年間約250億円。このうち、ガーゼや手袋、マスクなどの「診療材料」と医薬品が4割ほどの約100億円を占めている。

病院は2010年の独法化後、まもなく、物品の平均卸売価格の推移が確認できるサービスをする。業者から提示された価格、物品購入費を抑えることで、医療サービスが向上する高額な医療機器の購入費や、建物の改修費などに充てる

が平均価格より高い場合、業者と提示額の妥当性について話し合っている。

16年からは、新たに県内外の300以上の医療機関が加入する共同購入グループに参加。協力して物品を一括購入することで、通常より安価に物品を仕入れてきたという。

このほか、21年からはメーカができてきているという。医療の高度化や近年の物価高騰などにより、物品の調達費は増加傾向にある。調度担当の柳本一樹主任と石川知主任は「経費の削減に力を入れることで、今後も患者へのより良い医療環境を整えていきたい」と話している。

Ⅱ第2、4火曜日に掲載します。